

報 告

平成六年度大会の概況 日本思想史学会平成六年度大会は、十月二十二日（土）・十月二十三日（日）の両日、東北大学を会場として開催された。

第一日は、研究発表が行われた。発表者は次の諸氏である。

- | | | |
|--|--------------|-------|
| 1、『日本霊異記』の善悪観と戒律 | (宇都宮大学) | 吉村均 |
| 2、浄土信仰と神祇信仰の接点——出家作法の成立とその意味—— | (青山学院女子短期大学) | 三橋正人 |
| 3、修と証のあいだ——道元の疑問をめぐって—— | (関西大学) | 井上克人 |
| 4、胎内十月説の成立と展開 | (早稲田大学大学院) | 伊藤藤聡 |
| 5、鈴木正三における「天道」 | (学習院大学大学院) | 加藤みち子 |
| 6、テキストの内と外——「知」の権威化と度会延佳—— | (大坂国際女子短期大学) | 樋口浩造 |
| 7、契沖の言語認識について | (島根県立国際短期大学) | 井上厚史 |
| 8、呪術師玉木正英と現人神 | (愛知教育大学) | 前田厚勉 |
| 9、闍斎学派と『周易』 | (東海大学) | 田尻祐一郎 |
| 10、浅見綱斎の格物論 | (立命館大学大学院) | 石黒祐一 |
| 11、山鹿素行の「聖学」における道統観 | (淡江大学) | 劉長輝 |
| 12、『大疑録』再考 | (大坂大学大学院) | 松村浩二 |
| 13、伊藤仁斎・東涯の易観 | (早稲田大学大学院) | 清水徹 |
| 14、近世思想史における「旅」の視点——获生徂徠の「旅宿」を事例として—— | (福岡女学院大学) | 八木清治 |
| 15、徂徠における「中」概念の位相 | (東京大学大学院) | 田畑真美 |
| 16、松宮観山の思想構成 | (東北大学大学院) | 高橋禎雄 |
| 17、《命題》から《発話》へ——十八世紀日本における儒学史の成立と儒学の変容—— | (大阪大学) | 宇野尚哉 |
| 18、伊井直弼の茶湯 | (国際基督教大学大学院) | 谷村玲子 |

19、『聖武記』『海国図志』と吉田松陰

20、横井小楠の民衆観

21、千葉命吉の「二切衝動皆満足論」——「正行久松同善論」・神道・ベルクソンとの関係を中心に——

22、新渡戸稲造の修養論——女性の修養を中心として——

23、一木喜徳郎の政治思想について

24、田辺元における弁証法哲学の受容について

研究発表終了後、総会が行われ、評議員会より平成五年度事業報告および決算報告がなされ、それぞれ承認された。続いて評議員会より平成六年度事業計画および予算案が提案され、それぞれ評議員会案通り決定された。

引き続き、ワシントンホテルにおいて懇親会が催された。

第二日は、「転換期における国家と天皇」をテーマにシンポジウムが行われた。発表者と発表題目およびコメントーター、司会者は次の通りである。

古代神話の多元性と天皇の正統性

コメントーター

(東京大学)

神野志隆
黒崎輝人

王権の更替——義満の宮廷革命と室町の国制——

コメントーター

(横浜市立大学)

今谷弘夫

徳川朝幕関係の再編——新井白石の幕府王権論をめぐって——

コメントーター

(上智大学)

ケイト・W・ナカイ

膨張する国家と天皇——井上哲次郎の世界論——

コメントーター

(同志社大学)

沖田啓一

司会者

(宮城教育大学)

本郷隆盛

中野徹

佐藤弘夫